

外国人観光客への宇都宮の魅力再発信 —留学生と日本人の協力で生み出す観光振興—

宇都宮大学 行政学研究室 観光協力チーム

1. 提案の背景と目的

①宇都宮市内5大学に多数の留学生

市内5大学に572人の留学生が在籍
(関東への留学生のうち、7割は東京)
外国人観光客と日本人の架け橋に

②条件の良さ

市内5大学に多数の学生が在籍
外国人が多い東京からのアクセスが良い
(新幹線で約50分)

これらの背景から、コロナ禍で減少した外国人観光客の増加を目指すとともに、宇都宮市内に所在する既存の施設を外国人観光客と宇都宮市の大学生、市内の外国人留学生と宇都宮市民のあいだにおける多文化交流や観光振興の拠点として活用することも目指す。

2. 現状分析

①外国人に対するアンケート調査

- ・現状では宇都宮市を観光の目的地にしたいという人は少ない(25人中3人)
- ・日本旅行の難点は言語の問題

外国人観光客は

- 日本人との交流活動
- 母国語話者からの言語サポートを求めている!

②外国人滞在者数の市町村別比較

宇都宮市 > つくば市 > 高崎市
(北関東3県の1位の市町村と比較)
(宇都宮市は日光市に次ぐ県内2位)

③地方都市の海外向け観光情報発信

中国のSNS上で宇都宮市の観光アカウントは見当たらない。他の地方都市のものはある。(青森は130万人ものフォロワー)

3. 提案の内容

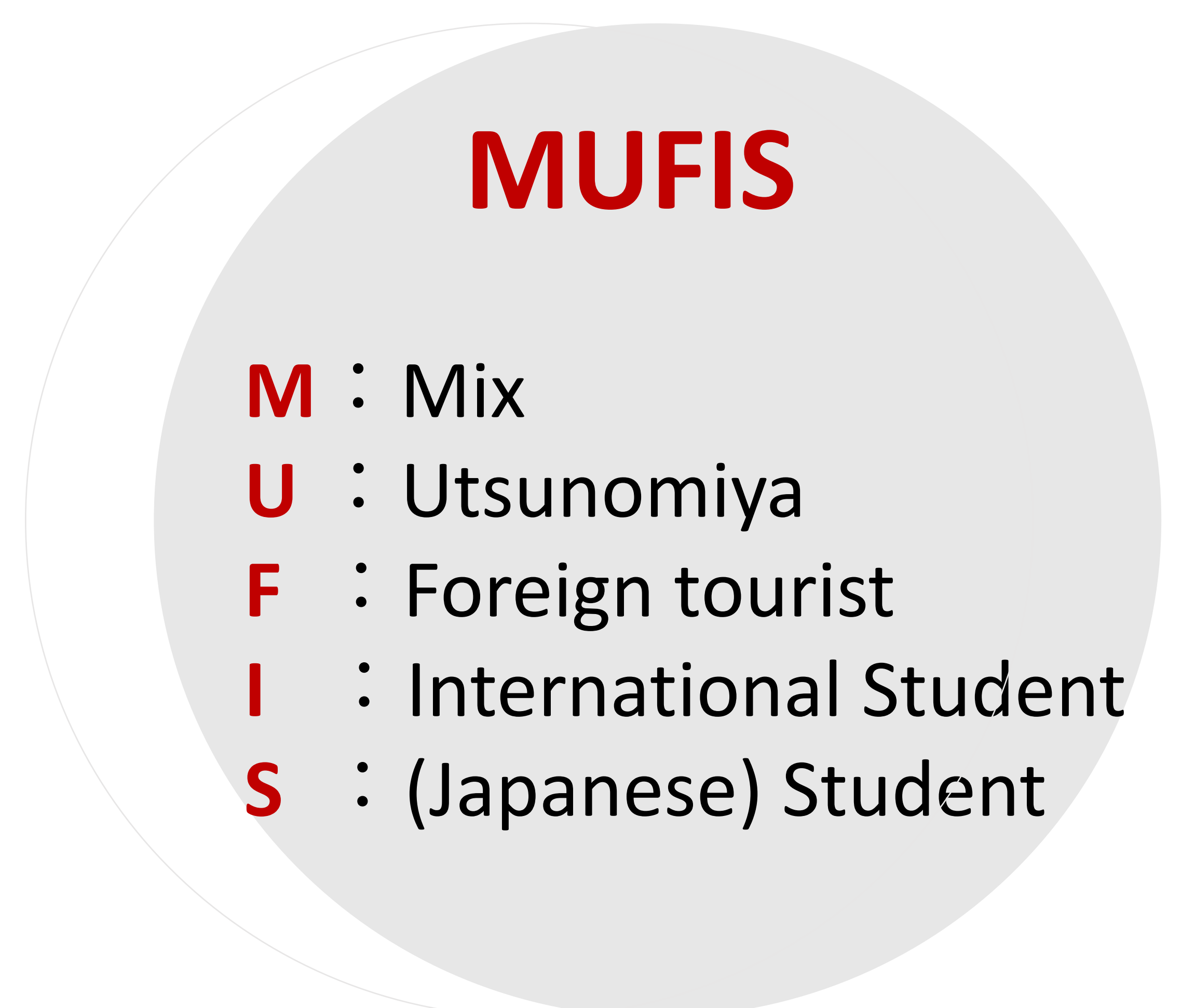
①外国人観光客と大学生の交流事業

内容：日本人学生による観光情報の提供
宇都宮の観光スポット紹介

→留学生の言語サポートで交流が円滑に◎

場所：既存の施設を活用(宇都宮共和大学や
Utsunomiya Terraceの一部)

→既存の施設の活用でコスト減◎



②留学生による海外のSNSでの宣伝活動

Step1：留学生の宇都宮市に対する理解は未だ不十分。まずは留学生が宇都宮の魅力に気付くために留学生向けの地域紹介と宣伝活動を展開。

Step2：実際に宇都宮市で暮らす留学生による、宇都宮市の観光情報の発信
→他の観光雑誌やネット上の記事とは一味違った情報で差別化